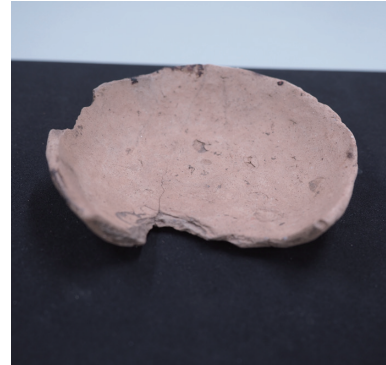


区画溝 20SD 出土遺物



とつくり
徳利



はじきさら
土師器皿



ないじなべ
内耳鍋



ないじなべ
内耳鍋



すずり
碇



てんもくぢやわん
天目茶碗

土坑 060SK 出土遺物



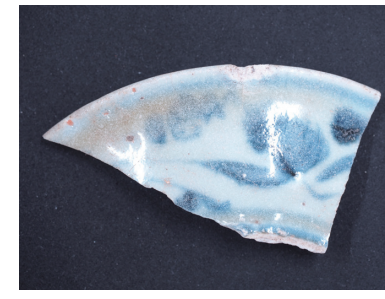
てんもくぢやわん
天目茶碗

土坑 033SK 出土遺物



りょうざら
稜皿

土坑 031SK 出土遺物



せい か は ぞりざら
青花 端反皿

野添遺跡 23 区からは、戦国時代から織豊期 (15 世紀～ 16 世紀末) にかけての屋敷地に伴う遺物が出土しています。屋敷地に関連する区画溝 020SD からは、内耳鍋や土師器皿が大量に出土しています。また、鍋類よりは少ないですが、碗や小皿などの陶器片も出土しています。さらに、碇の破片が出土しており、この屋敷の人物は文字を書く人物だったことがうかがえる資料です。

区画溝以外の遺構からも遺物が出土しており、柱穴や土坑では天目茶碗や稜皿などの陶器類や青花端反皿などの磁器が出土しています。

昨年度調査では 17 世紀前半の遺物も出土しましたが、今回の調査区では 15 世紀～ 16 世紀が主体となっており、17 世紀前半の遺物はあまり確認できていません。また、今回の調査区はより多彩な遺物が出土し、柱穴や掘立柱建物跡も複数発見され、屋敷地の中心ないしは中心に近いことが考えられます。このことから、元々あった屋敷地がやがて東へ広がっていった可能性が考えられます。

今回の調査では、多彩な陶磁器類や碇も出土しており、当時の暮らしが分かる貴重な資料が数多く発見されました。また、遺跡周辺には古くからあるとされるお寺 (臨在宗長谷寺) もあることから、寺領に関連した屋敷地の可能性が高まりました。屋敷地はさらに西側へ広がる可能性があり、今後の調査で明らかになることが期待できます。



令和5年度 野添遺跡地元説明会資料

編集
配布



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
HP <http://www.maibun.com>

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24
電話 (0567) 67-4163 【調査課】

Twitter https://twitter.com/aichi_maibun
Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>

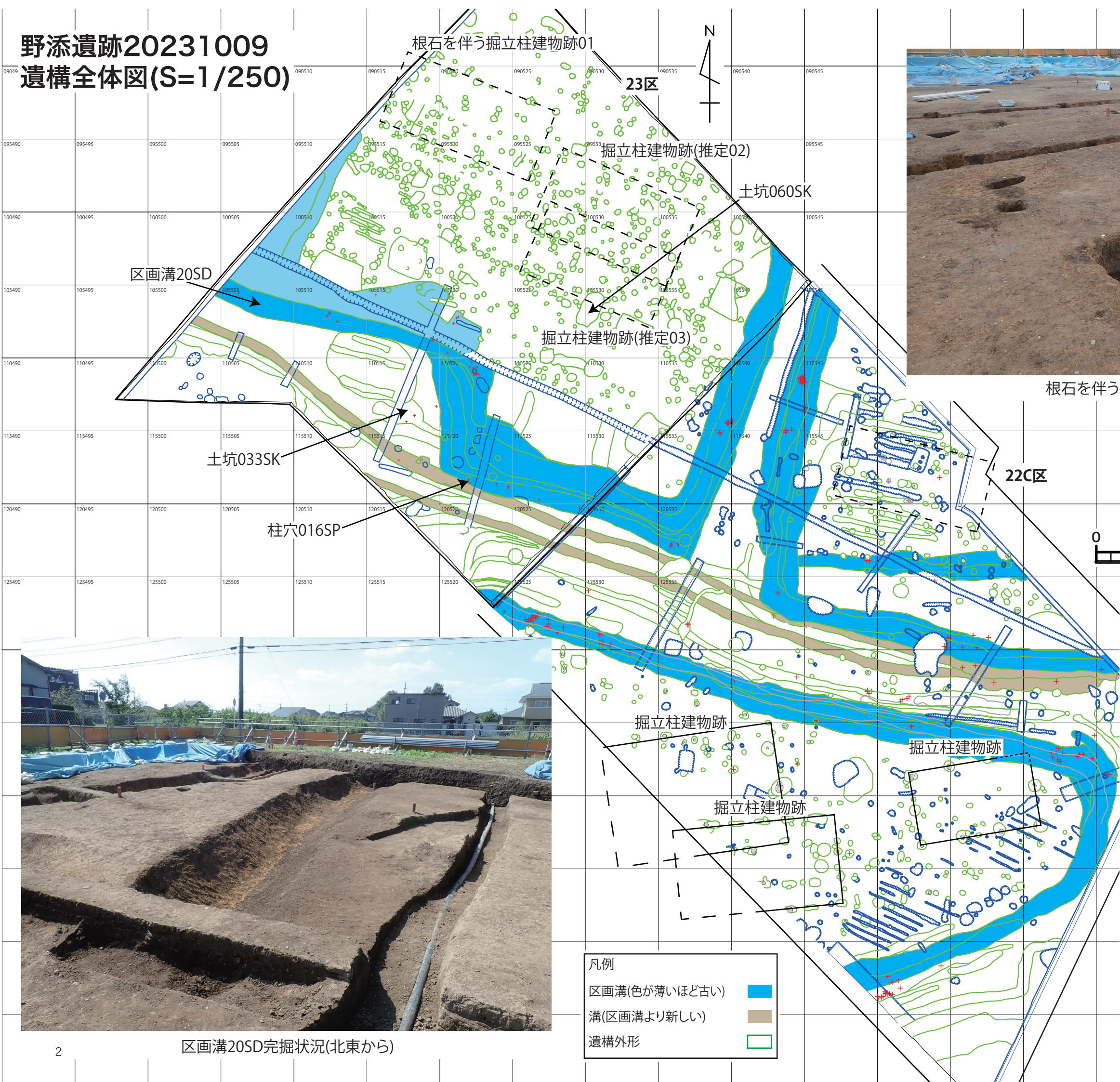
調査支援 橋本技術株式会社 愛知営業所



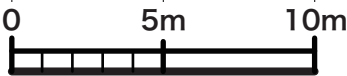
〒448-0047 愛知県刈谷市高津波町3

電話 (0566) 28-0880

野添遺跡20231009
遺構全体図(S=1/250)



根石を伴う掘立柱建物跡01(北東から)



野添遺跡では、2022年度調査区(22C区)から戦国時代～江戸時代前期(15世紀～17世紀)までの屋敷地が発見されました。今年度は22C区の西側を調査しました(23区)。この調査区からも戦国時代～江戸時代前期(15世紀～17世紀)までの区画溝に囲まれた屋敷地が見つっています。今年度調査区は遺構の残りが良好で、区画溝20SDからは大量の内耳鍋や土師器皿、天目茶碗などの陶器類、硯や砥石も出土しています。また、区画溝20SDに囲まれた北側の区画では、柱穴の底に根石を伴う掘立柱建物跡01など複数の掘立柱建物跡が確認されました。何度も建て替えながら長い間この場所を利用していたと考えられます。今年度の調査区は地盤が高い場所であり、多くの掘立柱建物跡が発見されました。おそらく、屋敷の中心にあたる場所と考えられ、屋敷の変遷を考える上で重要な成果となりました。



区画溝20SD完掘状況(北東から)